

# 第1回大津市庁舎整備基本構想策定懇話会議事録（要旨）

日時：令和3年12月20日（月）

9：30～12：00

場所：新館2階災害対策本部室

## 1 開会

構成員7名出席（全員出席）

## 2 副市長あいさつ

## 3 懇話会構成員紹介

## 4 事務局職員紹介

## 5 座長及び副座長の選任

（座長）滋賀県立大学環境科学部教授：高田豊文

（副座長）立命館大学理工学部特命教授：深川良一

## 6 懇話会の公開及び傍聴について

原則公開（異議なし）

傍聴人入場

## 7 議題

### （1）大津市庁舎整備基本構想策定懇話会について

・大津市庁舎整備基本構想策定懇話会設置要綱（資料1-1）

・大津市庁舎整備基本構想策定懇話会名簿（資料1-2）

資料により事務局説明

<意見等なし>

### （2）庁舎整備基本構想の策定について

1) 大津市の概要

2) これまでの経緯と取り組み

3) 庁舎の現状と課題の整理

4) 現状の課題と今後の方向性

5) 新庁舎のあるべき姿

6) 庁舎に求められる機能等

7) 庁舎に求める機能の整理

8) 基本構想策定のスケジュール

資料

・庁舎整備基本構想の策定について（資料2-1）

・庁舎整備基本構想の体系（資料2-2）

## 1) 大津市の概要

## 2) これまでの経緯と取り組み

資料により事務局説明

<意見等>

### ○構成員

耐震診断結果について、本館1階、別館3階が特にIs値が低い要因は何か。

### ●事務局

本館、別館とも耐震診断は3次診断まで行った。原因はいろいろあるが、低い数値で出ている。阪神大震災の際は震度5強でガラスが100枚程度損傷した。柱の変位が大きかったので大破に至らなかったが数値的には低い値となっている。

### ●事務局

別館3階は元々2階建てで竣工後に増築した部分であり、原因と考えている。

### ○構成員

耐震性の低い理由として壁などの耐震要素が不足していること、耐震要素があってもバランスが悪いこと、などが考えられる。

平成22年度に柱を補強されているが、何階の柱を補強して、それによって建物強度はどの程度向上できたのか。柱補強後の診断は行ったのか。

### ●事務局

補強は、柱の座屈を防ぐことにより人命の安全対策を図ることを目的としている。数値的な検証は行っていない。

### ○構成員

大きな地震があったときに人命に影響する柱を補強された。耐震性の低い理由は、市として把握していただきたい。

### ○構成員

これまで多くの検討がなされてきたが、何が原因で実行されず現在に至ったのか。課題は、整理しているのか。

### ●事務局

検討は行ってきたが、耐震改修による補強では、職員数増加による狭隘化が年々進み、執務室レイアウトへの影響が大きいことから難しい。

免震レトロフィット改修による方法も検討したが、敷地や建物配置を考えると施工が困難なことが課題となった。

庁舎として使い続ける場合、重要度係数1.5の耐震安全性を要求される。外壁には確保可能な位置にブレース補強が耐震改修の場合は必要となるが、執務室内にも耐震壁が必要との結果となり、また1階東側の正面玄関もブレースで塞がれてしまう結果となり使い勝手が良くないことから至らなかった。

免震改修も経費が建替えと変わらないことから結論に至らなかった。

旧国有地への建て替えパターンも検討したが、その過程で旧国有地が土砂災害警戒区域に指定されたことも対応が進まなかった要因である。

○構成員

土砂災害警戒区域にあっても、防護壁など適切な対策をすれば土砂災害警戒区域の指定を解除される可能性もあると思うが、どの程度検討したのか。

●事務局

土砂災害警戒区域に指定される前に、指定に関わられた有識者に、警戒区域から外せないか相談に伺ったが、土砂崩れの起点となるポイントと本敷地との高低差で決まってくるため解除はできないとの回答を得た。

滋賀県砂防課にも協議に行き、土砂災害警戒区域の場合、警報が出れば逃げてくださいというソフト対応が必要であり、土砂を受け流すピロティ状の建物形状とすることによる対策で利用可能との話をしていた。

○構成員

36か所の支所について、支所ではどのような体制で、どのようなサービスを行っているか説明頂きたい。

●事務局

戸籍、税、保険に関して、一次的に市民対応可能な役割を担っている。ただし、個別に対応が必要なケースについては、本庁に来てもらっている。

○構成員

いくつかの検討ケースが示されているが、例えばパターン③④のように本館と別館の解体を行う場合、解体後の跡地の利用目的はあるのか。また、今後検討する範囲になるのか。

●事務局

平成30年度の検討では、跡地は広場など市民の使える平面的な利用をイメージしていた。また築30年の新館の改修のための種地としても想定していた。

解体後の用地利用について、これまでは検討できていなかったため、今回の業務では、市民の理解を得るために、市民の財産として市民に還元できるような案も検討したい。

### 3) 庁舎の現状と課題の整理

#### 4) 現状の課題と今後の方向性

資料により事務局説明

<意見等>

○構成員

現状の課題と今後の方向性の説明を受けたが、既存庁舎の改修を検討する色あいが強く見えた。

36か所の支所と本庁舎のあり方や、今後DXを含めて、市役所をどう形作っていくのかの議論が必要ではないか。

現庁舎敷地周辺に皇子山総合運動公園、皇子が丘公園など総合的に市の施設が展開され、中核として本庁がある。周辺の施設とどう一体化して計画をしていくかと、支所にどう役割を分配していくか議論があってもよい。

●事務局

支所と本庁舎の連携や支所のあり方については、今後市民部とも連携していく必要がある。

庁舎整備について、総合的な配置転換の中で、庁舎を一つのパーツとして更新していく。周辺地域を含めた中で公共用地を使って、他の施設の新陳代謝も図るようなことも視野に入れたい。

○構成員

大津市は、まちづくり・都市計画的にどのような課題を抱えているのか。広域地図の説明も防災の観点からのみだったように思うが、他の公共施設との関係性、コンパクトシティなどの構想や都市計画マスタープランとの整合性などについても示してもらえたらわかりやすい。

●事務局

今後、建て替え候補地の検討に際し、意見を頂く中で、立地特性の視点もしっかりと整理したい。交通アクセス、公共交通機関とマイカー、鉄道と幹線道路のアクセスの良さと防災リスクの二本柱がポイントとなる。また、大津市が進める立地適正化の観点から鉄道駅への集約も意識し、検討したい。

○構成員

大津市では、オンラインでの行政サービスを積極的に展開していると思うが、利用率や市民の評価はどうか。また、職員の仕事がやり易くなったのか評価はどうか。

●事務局

オンライン化を進めているが、全てオンライン化できないため、紙も残しながらデジタル化を進めており、二重になり職員の手間が増えるが、市民サービスは向上している。利用にはマイナンバーカード認証が必要なので、利用率は低いが、市民がいつでも使える状況にしている。

○構成員

カード認証が拡大すれば自然に広がるのか。新型コロナ対応で無理やり電子化しなければならない民間企業もあったが、無理に変えていった整備の一環なのか。

●事務局

変えていかないといけない状況であるが、デジタル化が進んでも対面によるサービスは避けられない。デジタル化できることは、できる限り進めている。

○構成員

現在の庁舎を訪れた印象として、暗い、狭いと感じた。市民からの不平不満やクレーム、職員からの声は、データを把握しているか。

●事務局

もっとも多い意見が、トイレが古く綺麗でないということ。また、駐車場の区画が狭く、駐車場から庁舎へのアクセスが悪いということである。足の不自由な方からのエレベーターへのアクセスが分かりにくいとの声もある。

○構成員

耐震性などのハード面の説明が主だったが、周辺環境との調和や融合、支所との連携も考えていかななくてはならない。

5) 新庁舎のあるべき姿

6) 庁舎に求める機能等

7) 庁舎の求める機能の整理

8) 基本構想策定のスケジュール

資料により事務局説明

<意見等>

○構成員

体系について、その通りの内容ではあるが、一方「大津市らしさ」を盛り込む必要があるのではないか。例えば、周辺の皇子山総合運動公園、皇子が丘公園との関係性から健康推進を図る、あるいはJR・京阪の交通の交差点にあることから、市役所を起点に新たな健康まちづくりとかに繋がる。都市計画、まちづくりで大津市らしく実践していく起点になればと思う。

●事務局

庁舎整備にとどまらず、プラスアルファで新たな施策展開への活用ということでよいか。

○構成員

そういうことで。

●事務局

庁舎周辺の公共施設に関連した中で、庁舎をどう活用するか。庁舎にどのような機能を新たに取り入れて活用するのか検討したい。

○構成員

市役所の建物が存在して人がたくさんいる。コンピュータの市民と繋がるサイバー空間や職員が働くデジタル空間について、機能のデザインを考えていく必要がある。10年、20年、30年先の話になるがサイバー空間、デジタル空間のデザインが出来ればいい。

●事務局

先を見据えた中で、市役所の有り方は視野に入れたい。システム担当課と連携していきたい。

●事務局

デジタル空間を作るためには、基盤が大切である。ネットワークの無線化を進めており、新庁舎に引継ぎながら、サイバー空間について検討する。

○構成員

執務環境の改善や業務効率化について、必ずしも数十年後もそのままの体制ではない。機構改革もあると思われるが、庁舎が変化に耐えうるものにしていくという考えを、明確に加えてはどうか。

●事務局

毎年度、機構改革が行われており、部分改修等で対応している。フリーアドレスまでは難しいが、大きく間仕切りを変えなくて済むにはどのようなレイアウトが効率的かという視点は必要。

また、市民窓口スペースと執務スペースを明確に分けてセキュリティ対策も図り、トータルで効率性の高いレイアウトを意識する必要がある。

現庁舎にはOAフロアが整備されていないが、無線化など情報インフラを考慮しながらレイアウトなりを考えていきたい。

○構成員

体系表はヒエラルキーが整理されていてわかりやすい。一方でタテ割りになることの無いよう、基本方針間でつながりを考えて構想を作って欲しい。

■座長

大津市庁舎の過去・現在・未来について何うことが出来た。

質疑が無いため終了する。

8. その他（会議終了）

- ・傍聴者退場
- ・次回令和4年2月を予定。
- ・庁舎内及び周囲の視察

9. 閉会